

お店・会社紹介

スガモオフィス

タウン誌「すがも」

編集長 宮本政一

（平成13年政治経済学部経済学科卒業）



大学時代からアルバイトをしていた新聞社に卒業後もお世話になり、ライターとしての道を歩んできました。その後、雑誌編集プロダクションや番組制作会社などを経て、フリーランスとしてライター、編集業に携わり、現在に至ります。

7年前からは巣鴨を中心とした地域情報誌「タウン誌すがも」の制作メンバーに加わったことで、豊島区との関わりが生まれました。今年から編集長として本の制作に本格的に加わり、豊島区、巣鴨のさらなる発展に少しでも力になれるよう努めています。



ここで「タウン誌すがも」について、ご紹介させていただきます。タウン誌すがもは

協賛会員の協力のもと発行している月刊誌で、巣鴨を中心とした豊島区内の地域情報をメインに掲載しております。サイズの小さい冊子ではありますが、

地元の人達から愛されて今年で7年目を迎えることとなりました。豊島区で開催されるイベントなどの取材記事

を中心に掲載しているという、一般のタウン誌とはひと味違う特徴的な内容となっております。

巣鴨といえば、とげぬき地蔵尊・高岩寺や江戸六地蔵尊・眞性寺が有名で、今なお多くの人が訪れる地域です。信仰の街、そして塩大福や赤パンツの人氣が拍車をかけ、「おばあちゃんの原宿」として世間に広まりました。高岩寺がある巣鴨地蔵通り商店街は日本一の商店街とも言われるほど認知され、観光客が多く訪れる場所です。昨今では昔ながらのお店に加え、新たなお店が増えてきており、より魅力が



ある、すがもへと変貌を遂げました。若い人や海外の人を見かけることも多くなり、巣鴨の街のイメージも変わりつつあります。テレビなどのメディアでも「巣鴨の客層の変化」が取り上げられることが多く、注目度も高くなってきました。

初めて巣鴨に来られる方にお勧めしたいのは、より一層の盛り上がりを見せる4の付く日の縁日です。とげぬき地蔵尊・高岩寺の縁日には巣鴨地蔵通り商店街入口から庚申塚まで約800メートルにわたって、ズラリと露店が並び、多くの人で賑わいます。縁日にはイベントが開催されていることも多く、巣鴨初心者の方にも充分満足して頂けるはず。2020年には東京でオリンピックが開催されることもあり、世界各国から注目を集めるであろう、巣鴨。そんな魅力ある豊島区、巣鴨の情報を今後も積極的かつ広範囲に発信していく所存です。

『六大学野球秋季リーグ戦・明立戦応援観戦・懇親会』

10月20日、豊島立教会との交流行事である『六大学野球秋季リーグ戦・明立戦応援観戦ならびに懇親会』が本年も実施されました。



試合は、【4回表】明治が1点先制するも【9回裏】立教が同点に追いつく激戦、延長【11回表】明治が2点を追加し、対立教戦1回戦目の勝ち点を獲得いたしました。

その後の懇親会は池袋へ移り、立教大学野球部で元読売巨人軍ピッチャーの横山氏が経営する『うどん立山』にて開宴、両校々友合わせ30数名が集まりました。

今回は、立教大学OBである池袋警察署の岡谷署長をはじめ、両校とも若手校友が数名ずつ初参加、和やかなムードうちに宴席は進み、最後は恒例の校歌斉唱・エール交換や写真撮影で大いに盛り上がりの中での閉会となりました。



報告者：副幹事長 兼村 仁

明治大学校友会豊島区地域支部会報

豊島支部 NEWS

2019年 第60号

新年のご挨拶

新年明けましておめでとう御座います。「亥年」をどのようなお気持ちで迎えられるでしょうか。

昨年は経済全般では国内景気の前半は好調を維持しましたが、後半はアメリカのトランプ大統領の「アメリカ第一主義」の影響で世界のGDP一位二位であるアメリカと中国が保護貿易で関税の掛け合いなどにより景気減速の懸念を残したまま年が明けてしまいました。

また、国内では大きな自然災害として6月の大阪府北部を震源とする地震、8月の台風13号・20号、9月の台風21号、北海道厚真町を中心とした胆振地方東部地震が発生し、日本国内に甚大な被害と爪痕を残してしまいました。地震大国日本、台風の通り道日本ではありませんが、一年間を通してこれ程まで自然に翻弄された年は無かつたのではないのでしょうか。自然に対し人はそのエゴを捨てると謙虚に、もっと素直に接しないとそのしつぱ返しが必ずや来るのではないのでしょうか。



さて、本年は4月30日の天皇陛下の退位、5月1日の皇太子さまの即位・改元が決定しております。また、4月の地方統一選挙、7月の参議院選挙、そしてラグビーワールドカップが予定されております。この様に一年間を通して様々な行事・イベントが開催されます。元号が平成から改元され新元号に代わりこれからの日本が本場に世界の人々と手を携えて行ける国になります様記念したいと思います。

豊島区地域支部に於きましては昨年の総会で幹事長を板橋光一さんから猪瀬典夫さんに、監査委員を島村高彦さんから小野幸宏さんに、会計幹事を島倉仁志さんの死去に伴い本間豊明さんに代わり新しい体制でスタートを切ることができました。また、事業計画で立案させて頂きました強化事業として「女性・若手校友の入会・活動の促進」を実施するにあたり、会則を改訂し、特別幹事制度を発足させました。学生幹事として鈴木舞さん、父母幹事として三橋和也さん、協力幹事として長橋けい子さんに就

任をしていただくことになりました。これからの校友会活動には欠くことができない女性・若手校友の発掘を目指しこれから地道に確実に推し進めていきたいと思っております。

一昨年発足しました「ミレイ会」は年8回の開催をすることができました。当ミレイ会も校友会活動担う大事な事業でありますので益々活性化すべく努力していく所存です。

豊島区地域支部の活動は老・壮・青年の校友の皆様の支えがあり初めて大学への貢献、地域活動への貢献が可能になると確信しております。今後とも「着実に」「確実に」にをモットーに「明るく」「仲良く」「楽しい」地域社会を築くべく校友の皆様のご協力・ご支援を頂きます様切にお願い申し上げます。本年もよき1年となります様ご校友・の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

一月元旦
明治大学校友会 豊島区地域支部
支部長 白砂正人



◆ 総会・懇親会を開催

平成30年11月10日(土)午後6時から、としま産業振興プラザIKE・Biz 6階多目的ホールにおいて開催いたしました。

総会は、会則の規定に基づき白砂支部長が議長となり、第1号議案…2018年度事業報告及び収支決算報告並びに監査報告、第2号議案…2019年度事業計画(案)及び予算(案)、第3号議案…会則の改定(第10条に特別幹事を設置できることの規定の追記)、第4号議案…役員改選(監査委員として小野幸宏氏の選任、常任幹事として高橋亨氏と柳田直毅氏の新任、その他役職者の担当変更)が上程され、全ての議案が全会一致で可決成立しました。引き続き、当地域支部副支部長であ



り、明治大学体育会女子ゴルフ部監督の長尾睦子氏(1985年文卒)の「現役を支えて、後輩を支えて」と題して記念講演いただきました。女子ゴルフ部は、関東学生ゴルフ



連盟・関東女子大学Aブロック対抗戦校として、また、朝日杯争奪日本女子学生ゴルフ選手権・信夫杯争奪日本女子大学ゴルフ対抗戦に出場するなど活躍していますが、長尾監督は、技術指導のみならず、女性ゴルフアとしての立ち居振る舞いを助言指導するなど、個を磨く明治大学を代表する体育会の指導者としての一面を垣間見ました。女子ゴルフ部監督としてのみならず、主婦として、母親として、また企業経営者として数々の示唆に富んでおり、感銘を受けるとともに、長尾氏の今後のより一層のご活躍に出席者一同が期待する講話でした。

懇親会は、としまNPO推進協議会の本多総理子氏が司会し、ご参会いただいた高野之夫豊島区長、三浦昭生校

友会東京都北部支部長をはじめ、板橋区・練馬区・西東京市・新宿区の各地域支部長様、中野区・港区の地域支部幹事長様のご紹介と、校友の鈴木正美東京商工会議所豊島支部会長の乾杯のご発声で開宴しました。今回は68名の参加があり、明治大学応援団指導班及びバトン・チャリーディング部による応援歌のメドレーとパフォーマンスにより大いに盛り上がりとともに、

橋爪孝利常任幹事のリードによる校歌、兼村仁副幹事長による閉会挨拶と三本締めで盛会裡に終了しました。

【報告…幹事長 猪瀬典夫】

マンドリン倶楽部OBの皆さんによるコンサート御礼報告

いつも大変にお世話になっております。明治大学マンドリン倶楽部OB会メモリアルオーケストラです。去る10月13日、駒込の滝野川会館において私共の第3回定期演奏会を開催いたしました。ご来場を頂きました皆様、有り難うございました。マンドリンのアクセサリーなサウンドとハーモニーをコンセプトに、第1部では、映画音楽、ロシア民謡など様々なジャンルの

音楽を、第2部では、世界で活躍する日本のアルパ奏者、ロシア塩満さんをゲストにお迎えして、アルパ(パラグアイハープ)とマンドリンオーケストラのハーモニーをたっぷりとお楽しみいただきました。盛況のうちに無事に演奏会を終えることができ、また打ち上げには白砂支部長様にもご参加をいただき、楽しくも充実した一時を過ごさせていただきました。ご後援をいただきました明治大学校友会豊島区地域支部様並びに



関係各位に厚く御礼を申し上げます。私共の第3回定期演奏会のご報告とさせていただきます。有り難うございました。

※お詫びと訂正 先月号の一面で暑氣払いの新規参加者のお名前をお一人誤って紹介してしまいました。鳥居さんと掲載されましたが、正しくは島居(しますえ)さんの誤りです。訂正してお詫びいたします。(編集部)

明治魂を伝える

柳田直毅

政治経済学部 平成二十年卒
株式会社ナゴヨ 総務管理部

明治大学との縁は、生まれた時からと言っても過言ではなく、父が明治大学卒業生であったところから始まります。この父のもとで育ってしまったことから、私の明治大学への進学は運命づけられていたのかもしれない。

小さい頃から父とその友人(ほとんど明治大学卒)の食事の席によく行くことがありました。何を話していたのかは覚えていませんが、皆さんいつも楽しげにお話をし、私を可愛がってくれていたのはよく覚えています。今思うと、この頃からOBの明治大学への勧誘が始まっていました。

諸先輩方の勧誘を真っ直ぐに受け止めた私は、中学から明治大学付属中野中学校へ進学した為、中・高・大と明治の名を背負い、明治一直線に進んでいくことに決まりました。

中学、高校では軟

式テニス部に所属していました。軟式テニスというほぼ個人競技のせいなのか



わかりませんが、性格が皆バラバラ、自己主張は強く、皆曲げない。ただ、何度も衝突ばかりをしていたにも関わらず、不思議と今でもその仲間達とは繋がっており、この仲間達で社会人になってから作ったサークルも、当初は6人ほどの団体戦も定員ギリギリでしたが、今では明治の卒業生が集まるだけでなく、二十代から三十代の様々なメンバーが集まるサークルとなっております。テニスだけでなく新たなコミュニケーションへと進化してきました。テニスが下手である私はい

うと、ほぼ飲み会の参加のみになっており、大学時代に一人は居たであろう、飲み会専門の部員となっております。大学生時代はとても出来が悪く、学校にも行かず、よく一人で明大前から新宿、原宿、渋谷まで歩いては洋服店

に入り、歩き疲れては喫茶店に入り一休み、休んではまた洋服店に入り、ということをはたすら続けていました。大学生になって、自分が何をし、何になり、どう人生を歩んでいくのか、ということに初めて直面したのだと思います。

この日々の不断の努力もあってか、自分が初めて仕事としてやりたいと思えたことが、洋服のデザインであることに気付かされました。

ただ、今まで絵も描いたことがある訳でもない、まして洋服の縫製などしたこともない。もちろん、父からだけでなく、友人からも反対されました、今までやったことがない人間が出来る訳がないと。しかし、私は生来の楽道家なのかわくわくが抑えきれませんでした。自分だからこう出来る、自分だったらこう表現する、やっと思えや思いを表現出来る方向を見つけることが出来たのだと。自らの熱意と、思い切りで進んでいきました。と言っても半ば強引でしたが…。

結果、紆余曲折ありましたが、デザイナーとして仕事ができるまでに至りました。

私は大学の4年間にとても感謝しています。側から見たら、なんと無駄な時間を過ごしたかと思われることでしょう。ただ、こんなにも昼夜問わず考え、夢中になれることに出会えたのですから、これこそ私にとって何ものにも代え難いものに他なりません。誰が何を言おうと自らの思いを諦めなくてよかつたとも思っております。

不思議なことに、私の中には困難な時こそ、前に進もうという精神が根付いているのかもしれない。愚直でもいい、前に進みながら、これからも日々前進し続けて参ります。

ミレイ会通信

豊島区地域支部では、毎年3回のイベントを開催し、校友の親睦を図っています。それは、2月の新春の会(地球飯店)、8月の暑気払い(第一イン池袋)、11月の総会(としま産業振興プラザ)で、校友が集い、盛大に催されています。年配の校友からは、懐かしい昔の仲間に会い、話をしたいので、懇親会開催の強い要望がありました。このため、概ね60歳以上



上のシニアを対象にミレイ会を発足し、主として、イベントの無い月の第2火曜日に懇親会を開催し、一年を迎えました。第8回

のミレイ会は、12月11日午後6時に菓鴨の「たけやま」(校友池田耀さん経営)に11名が集まり、二時間余り、先輩方の昭和の懐かしい話で盛り上がりました。北村嘉伸さんが初めて参加し、楽しんで頂きました。ざつとばらんな雰囲気懇親会ですので、気楽にお出で下さい。なお、次回は、平成31年3月12日午後6時から池袋西口のロサ会館2階の「田舎料理 さど」で開催予定です。

※担当幹事 後藤孝男